

国際バドミントン大会を活用した交流人口拡大プロジェクト

国際バドミントン大会「熊本マスタースズジャパン」について

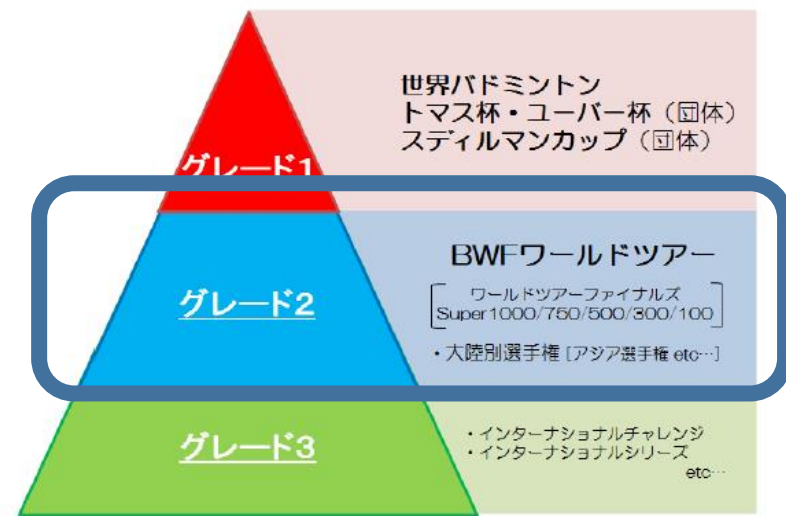
● BWF（国際バドミントン連盟）公認のワールドツアーの1つ。男女シングルス、男女ダブルス、混合ダブルスの5種目がある。

①期 間：2023年から2026年までの4年間

【第1回大会】令和5年11月14日（火）～11月19日（日）

②試合会場：熊本県立総合体育館（練習会場：熊本市立体育館）

③参加人数：選手やチームスタッフ、役員などを含め400～500名程度



国際バドミントン大会を活用した交流人口拡大プロジェクト

経済界・スポーツ界・行政一体となった協力体制

BWFスーパー500熊本大会推進協議会

● 熊本大会成功に向け、オールくまもとでの機運醸成を行う機関

(名誉会長) 熊本県知事・熊本市長
(名誉顧問) 熊本県議会議長・熊本市議会議長
(会長) 日本バドミントン協会会長
(副会長) 熊本県バドミントン協会会長

【委員】

熊本県スポーツ協会会長
熊本県商工会議所連合会会長
熊本県商工会連合会会長
熊本経済同友会代表幹事
熊本県中小企業団体中央会会長
熊本県観光連盟会長
熊本国際観光コンベンション協会会長
再春館製薬所代表取締役社長
ヨネックスジャパン社長
ヨネックス相談役
熊本県観光戦略部長
熊本市経済観光局長

BWFスーパー500熊本大会実行委員会

● 熊本大会の運営・予算などの実務的業務を所管する実行機関

(委員長) 日本バドミントン協会専務理事

【委員】

日本バドミントン協会事務局長
日本バドミントン協会マーケティング部長
熊本県バドミントン協会理事長
再春館製薬所常務取締役
熊本県スポーツ振興事業団理事長
熊本市文化スポーツ財団理事長
熊本県観光企画課長
熊本市スポーツ振興課長

【監事】

熊本県会計課長
熊本市会計総室副室長



大会を通じて実現したいこと

- 1 国内外からの交流人口の拡大
- 2 “バドミントン王国 熊本”の知名度アップとブランド価値の向上



大会を通じて実現したいこと

1. 国内外からの交流人口の拡大



大会を通じて実現したいこと

2. “バドミントン王国 熊本”の知名度アップとブランド価値の向上

世界で活躍する選手を多く輩出



山口 茜 (ヤマグチ アカネ)
(世界ランキング1位)



松山奈未 (マツヤマ ナミ)
(世界ランキング2位)

志田千陽 (シダ チハル)
(世界ランキング2位)

ジュニア競技者数も全国トップレベル！！



国際バドミントン大会を活用した交流人口拡大プロジェクト

ご協力よろしく申し上げます。



2019年 女子ハンドボール世界選手権大会
@熊本県立体育館

- ・開催日：2019年11月～12月
- ・参加国：24か国
- ・観客数：約31万5000人



ラグビーワールドカップ2019
@熊本会場

- ・開催日：2019年10月
- ・参加国：4か国
- ・観客数：
フランス対トンガ 来場者数28,477人
ウェールズ対ウルグアイ 来場者数27,317人



世界に誇るボランティア精神でおもてなし

